

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 睦会	代表者	理事長 中沢 允	法人・ 事業所 の特徴	運営法人(昭和52年設立)は長野市と須坂市で高齢者中心の総合福祉事業を展開している。当時業者は「住み慣れた地域で あなたらしく いきいきと」を運営方針に掲げ、ご利用者、ご家族はもちろん、スタッフもいきいきとできる事業所を目指している。
事業所名	むつみ家いきいき	管理者	新村 潤		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	0人	1人	人	16人	人	21人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「よりそいシート」を全利用者について作成し活用する。</li> <li>・ヒヤリハットの件数を増やし、職員の気付きに繋げ、事故防止に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「よりそいシート」は全利用者分を作成したが、活用については一部にとどまり課題が残った。</li> <li>・全職員がヒヤリハットの件数増に取り組む、重大事故が減るなどの一定の成果を得た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きヒヤリハットの件数増と改善に向けた取り組みをお願いしたい。</li> <li>・ヒヤリハットの提出の声掛けにより件数増加となり事故防止につながり、良い成果だと思う。</li> <li>・全職員の努力の結果として、重大事故の減少は評価できる。</li> <li>・どのような課題が残ったのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の研修目標を立て、研修へ積極的に参加し、介護技術の向上や知識向上に繋げる。</li> <li>・職員の気付きに繋がるよう、ヒヤリハットの提出を続け、引き続き事故防止に取り組む。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止の視点を含め、事業所内外の環境改善をはかる。</li> <li>・利用者一人ひとりにとって、居心地の良いリビングづくりを進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畳部屋入口の簡易手すりの設置、こたつの廃止等を実施し、リスク軽減を図った。</li> <li>・定員拡大に伴い一人当たりの空間が狭くなり、居心地の良いリビング作りには課題が残った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭い空間の中、工夫がみられる。作りを広くすることで、事故防止につながるのではないかと。</li> <li>・職員一人一人が気づきを大切にすることで良い環境、介護の向上につながると思われる。</li> <li>・居心地の良い空間とは何か、職員個々でも考えてほしい。</li> <li>・見学していないのでわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた空間の中で、利用者一人一人にとって居心地の良い空間とは何かを考え、環境整備等の改善をはかる。</li> <li>・視察時間を7月、11月、1月の会議で設け、現場の状況を理解してもらう。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例を含んだサービス案内パンフレットを作成し活用する。</li> <li>・職員向け研修会への参加を地域に呼びかける等、施設機能の地域開放に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所独自のパンフレットを作成し、職員周知に役立てた。</li> <li>・9/25開催の内部研修会への参加を地域回覧して呼びかけた。</li> <li>・台風被害を受けた地元福祉系団体へホール貸し出しを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との交流、開放に感謝します。パンフレットは内容が具体的に提示されていて良かったので、地域への回覧をしてほしい。回覧することで、老若男女への広報分野に役立つのではないかと。</li> <li>・地域への情報発信を継続してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス案内や事例、事業所内の活動内容等を含んだパンフレットを作成し、地域に回覧する。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活かした、利用者個別の外出支援の機会を増やす。</li> <li>・地域行事への参加を年間予定表に位置づけ、計画的に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじみの店などに外出する等、利用者17名に対して個別外出支援を行った。</li> <li>・月間計画を立案する中で、必ず地域行事の確認し、文化祭、各運動会、学校・保育園行事等に年間を通して参加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者にとって楽しみな支援となっていて、生活にメリハリがついて良い。人員は許す限り工夫し、今後も継続してほしい。</li> <li>・利用者の喜ぶ顔が浮かびます。</li> <li>・地域行事等の参加に感謝する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活かした、利用者個別の外出支援を担当者が中心となり、継続する。新たな地域資源も探っていく。</li> <li>・地域行事へは、事業所からも進んで参加する。</li> </ul>